

あとがき

皆さま、明けましておめでとうございます。本年も『臨床眼科』のご愛読をよろしくお願いいたします。

64 巻第 1 号も盛りだくさんの内容となりました。京都大学の山中伸弥教授らが世界で初めて作製し、現在世界中で話題となっている iPS 細胞について、網膜変性との関連で平見恭彦氏らが今月の話題「iPS 細胞と網膜再生」の中で大変わかりやすく解説しています。この論文では、ES 細胞から作製された網膜細胞がすでに動物実験で網膜下に移植され、機能的にも改善がみられたという Lamba らの研究が紹介されていますが、網膜色素変性に対する根本的な治療へのあゆみが一歩ずつ確実に進んでいるという印象をもたせてくれています。

〈公開講座〉炎症性眼疾患の診療「急性出血性結膜炎」では青木功喜氏らが、この疾患の命名とエンテロウイルス 70 の分離に関する研究が杉浦清治元教授率いる北海道大学眼科の成果であったことを述べています。西田輝夫教授監修による「説き語り論文作法」では「的確な文献引用」が解説されています。単に論文を仕上げるための文献引用の作法にとどまらず、日頃からの学術論文に対する“こうあるべき対処”の仕方が述べられ、若手の眼科医ならずともすべての医師にとって重要とされる生涯学習の面でも大変重要なエッセンスが凝集している内容です。佐藤綾子教授のもっと医療コミュニケーション「医師と患者の『役割分担』」では、綾木雅彦氏のご指摘もありましたが「医師が医師らしく、患者が患者らしく振舞う」という一節が印象的です。シェークスピアの「世界は舞台である。そして男も女も役者にすぎない」とか、さらにショーン・オケシーの「世界は舞台である。そして我々は絶望的なほどにリハーサルなしである」などの名言をも彷彿とさせます。だから人生は面白いのかもしれない。

そして本誌では、臨床研究や症例報告に加えて「眼科医にもわかる生理活性物質と眼疾患の基本」の新連載が始まります。最近よく眼にするようになった〇〇ファクターと眼疾患との関連についての連載です。乞うご期待。
(中澤 満)

編集顧問 宇山昌延 大野重昭 清水弘一 玉井 信 塚原 勇 水流忠彦 馬嶋昭生
増田寛次郎 三宅養三

編集委員 坂本泰二 鈴木康之 寺崎浩子 中澤 満 西田輝夫 根木 昭 (五十音順)

臨床眼科 (第 64 巻 第 1 号)

発 行 株式会社 医学書院

2010 年 1 月 15 日発行 (毎月 1 回 15 日発行)

代 表 者 金原 優

定価 2,835 円 (本体 2,700 円+税 5%)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

〔2009 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 41,660 円
電子ジャーナル閲覧オプション付 54,300 円〕
増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。「臨床眼科」のページにて最新号の目次、バックナンバーを直接閲覧頂けます。Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringan/>
- ・ **JCOPY** <㈱出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
担当 鶴淵・風間・安部